



しののめYMC Aこども園 園だより

2025年度 3月号

発行者:こども園園長 草分俊一

聖句 「互いに愛し合いなさい」

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。
これがわたしの掟である。

3月聖句 主が一步一步を備えてくださる。

箴言 16:9

今年度の寒さが一気に到来し、その厳しさを感じながら過ごしてまいりましたが、二月も月末となり、今度は一気に春、いえ初夏を思わせるような陽気の日も見られるようになりました。

師走のある日、年少さんが園庭門の両脇の花壇に、チューリップの球根を一人一個ずつ植えてくれました。赤や黄色……この春、どんな色の花が咲くのか、今から楽しみです。花壇をよく見ると、ところどころで球根から伸びた芽が土の中から顔をのぞかせ始めています。この冬の寒さの中でも、しっかりと土の中で「生きる」力に、自然のたくましさを感じます。周囲の木々の枝にもつぼみがふくらみ始め、五感で少しずつ春の気配を感じる頃となりました。

教室に足を運ぶと、各学年で制作に取り組む姿が多く見られます。年長さんは卒園制作のタペストリー作りに挑戦しています。好きな色の毛糸を選び、紐と紐の間に器用に通しながら丁寧に織り進めています。いくつも作り、お父さんやお母さんへのプレゼントとして持ち帰る園児の姿もありました。年中さん、年少さんはひな祭りの制作に取り組んでいます。四月当初は思うように使えなかったはさみやのりも、今ではずいぶん上手に扱えるようになりました。制作を通して子どもたちの成長が感じられます。単純な作業から少しずつ複雑な工程へと進み、手先の器用さだけでなく、頭の中で思い描く想像力も大きく育っていることを実感いたします。

また、各学年でプール参観が行われました。子どもたちは観覧席にいる保護者の方を一生懸命探し、見つけると満面の笑みを浮かべていました。この日ばかりは最後まで笑顔で、いつも以上に元気いっぱい頑張っていました。保護者の皆さまの温かな眼差しの中で、大きな安心感を抱いていたことと思います。

各担任より、教室で使用している加湿器について不具合の声がありました。そのことを踏まえ、おひさま会にご相談したところ、今年度の寄贈として各教室に加湿器をお贈りいただきました。衛生面やランニングコストにもご配慮いただいた機器を大切に活用し、子どもたちの健康維持に努めてまいります。心より感謝申し上げます。今年度の最後の日まで、保護者の皆さまと共に、子どもたちの豊かな日々を支えてまいりたいと願っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。